

特殊詐欺の手口紹介

オレオレ詐欺

電話で子供や孫等の親族を名乗り、「会社のお金が入った鞆を無くしてしまった。お金を貸して欲しい。」などと言って、金銭をだまし取ります。

架空料金請求詐欺

架空の事実を口実に金銭をだまし取る手口で、例えば、パソコン画面に「ウイルスに感染した。」などと偽の警告画面を表示させ、修理料金等を要求するものなどがあります。



預貯金詐欺

警察官や銀行協会職員等を名乗り、電話をかけ「キャッシュカードの交換手続きが必要だ。」などと言って受け取りに来た上で、キャッシュカード等をだまし取ります。

還付金詐欺

市役所職員等を名乗り、「介護保険料の還付金がある。」などと言って、被害者をATMに誘導し、ATMを操作させ、被害者の口座から犯人の口座に送金させてだまし取ります。

金融商品詐欺

未公開株や有価証券、外国通貨等の金融商品をウソの情報で儲かると言ってだましたり、名義貸しトラブルに巻き込んだりして金銭をだまし取ります。

融資保証金詐欺

実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んだ者に対し、保証金等の名目で金銭を要求してだまし取ります。



キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行協会等を名乗り、「キャッシュカードが不正に利用されている。」などと電話をかけ、被害者方に赴き隙を見るなどしてキャッシュカード等を窃取します。

ギャンブル詐欺 交際あっせん詐欺

「ギャンブル必勝情報の提供」や「異性の紹介」に申し込んできた者から、登録料や情報料、保証金等の名目で金銭をだまし取ります。

被害防止対策

防犯機能付き電話の導入・留守番電話機能の活用!

犯人からの最初の接触の多くは、自宅の固定電話にかかってくる電話です。犯人からの電話に出てしまわないためには、着信音が鳴る前に電話相手に自動で警告を発してくれる防犯機能付き電話を導入しましょう。また、在宅中でも留守番電話機能を活用することも効果的です。

「お金・キャッシュカード」の話は誰かに相談!

知らない電話の相手から、「お金・キャッシュカード」の話が出たら、一旦電話を切り、家族や警察など必ず誰かに相談しましょう。

キャッシュカードは誰にも渡さない!

警察官などがキャッシュカードを確認したりすることはありません。また、キャッシュカード詐欺盗は、目を離れた際にキャッシュカードをすり替えられますので一瞬たりともキャッシュカードから目を離さないようにしましょう。

暗証番号は誰にも教えない!

暗証番号を教えなければ口座から預金を引き出されることはありません。

カワウさん

ハシビロくん



特殊詐欺被害防止キャラクター